１章　正負の数　「１節－２　数の大小」

今回の授業：「負の数をふくめた数直線をつくってみよう」「数直線を使って，数の大小を考えてみよう」

授業の目標：「正負の数を数直線上に表すことができる。また，数直線を使って正負の数の大小を考え，その関係を不等号を使って表すことができる。」

教科書：Ｐ１３～Ｐ１６　　副教材（基礎からの問題集）：Ｐ９

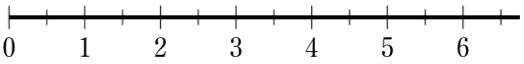
板書内容①

1節－2　数の大小

P13

Q みなおしてひろげよう

下の数直線上に，2，3.5 を表す点をしるしてみましょう。
また，－1，－2 を数直線上に表すには，どうしたらよいでしょうか。



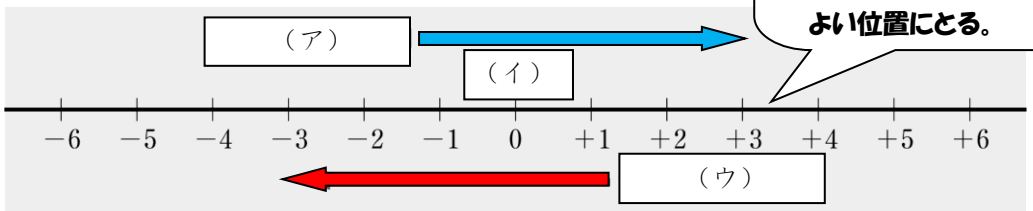
小学校のときに習った数直線

※負の数をふくめた数直線をつくるには，０を基準として反対の方向にのばす。

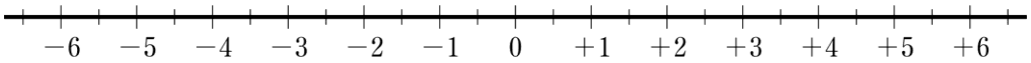
たしかめ 1　答　A：　　B：　　C：

＜中学校で習う数直線＞

※目もりの単位は，自由にとってよい。
※原点の位置は，都合のよい位置にとる。



たしかめ 2



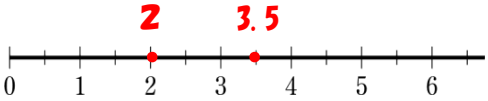
課題

１．教科書 P13 を読み，上の板書内容①を（ア）～（ウ）の空欄を埋めながら，授業用ノート（Ｂ５サイズ）にまとめなさい。

２．教科書 P13 の たしかめ 1，たしかめ 2 を解きなさい。
また，次のページの解答を見て，○つけ直しもすること。

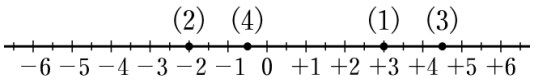
【前ページの解答】

1．Q みなおしてひろげよう



2．P13 たしかめ1　A：＋4　，B：＋2.5　，　C：－5.5

たしかめ2



板書内容②

大小を表す記号＜，＞を不等号という。小＜大または大＞小

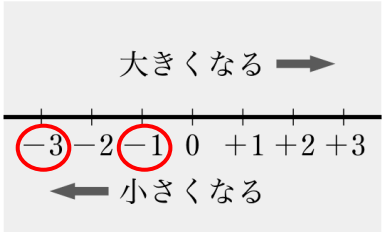
・数の大小

P14　例1　－１と－３の大小

数直線上で，－１は－３より右にあるから

－１のほうが大きい。

－３□－１　または　－１□－３



不等号の向きをそろえる。小さい順または大きい順

例2　０，－３，＋２の大小

－３□０□＋２　または　＋２□０□－３

正の数は０より大きく，負の数は０より小さい。

P14　たしかめ3　答（１）　　（２）

問1　答（１）　　（２）

問2　答

課題

１．教科書 P14 を読み，上の板書内容②の空欄を埋めながら，授業用ノート（Ｂ５サイズ）にまとめなさい。

２．教科書 P14 の たしかめ3，問1，問2 を解きなさい。
また，次のページの解答を見て，○つけ直しもすること。

【前ページの答え】

2．たしかめ③ (1)　−3<−2　または　−2>−3
(2)　−2<0<+1　または　+1>0>−2

問1 (1)　−3<+5　または　+5>−3
(2)　−4<−1<+3　または　+3>−1>−4

問2 −3<−2<+4　または　+4>−2>−3

板書内容③

・絶対値

P15

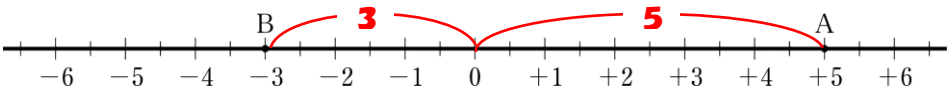
Q 考えてみよう

絶対値（ぜったいち） という。

下の数直線上で，原点との距離（きょり）が，点 **A** と等しい点をみつけ，

その点に対応する数を求めてみましょう。

また，点 **B** についても，同じことを考えてみましょう。



答　点Ａと等しい点：　　，点Ｂと等しい点：

（例）＋３の絶対値は（ア）
　　－３の絶対値は（イ）
　　０の絶対値は　０

絶対値が３であるものは
＋３と－３の２つある。

たしかめ④ 答（１）　　（２）　　（３）　　（４）

問3 答

問4 答（１）　　（２）　　（３）

負の数は，絶対値が　大きい　ほど（ウ）。

課題

1．教科書 P15 を読み，上の板書内容③の空欄を埋めながら，授業用ノート（Ｂ５サイズ）にまとめなさい。

2．教科書 P15 の たしかめ④，問3，問4 を解きなさい。できる人は，もっと練習! も挑戦しましょう。
また，次のページの解答を見て，○つけ直しもすること。

【前ページの答え】

1．（ア）　3　（イ）　3　（ウ）　小さい

2．P15　たしかめ 4　(1)　8　(2)　10　(3)　2.5　(4)　$\frac{1}{3}$

問 3　＋7，－7

問 4　(1)　$-49<-36$　(2)　$-0.8<-0.12$　(3)　$-\frac{7}{6}<-1$

もっと 練習!　(1)　$-0.1<-0.01$　(2)　$-\frac{1}{2}<-\frac{1}{3}$

課題

次の基本の問題を，授業用ノートに取り組みましょう。（目安時間は 10 分）

ノートには答えだけでよいです。ただし，2 の数直線は書きましょう。

終わったら，○つけ直しをしましょう。

P16

1 節
正負の数

基本の問題

1 次の□にあてはまることばや数を答えなさい。　反対の性質をもつ量

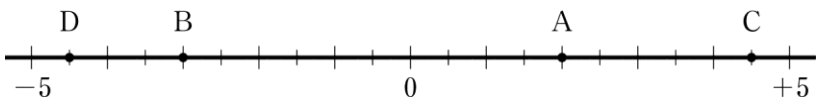
(1)　ある品物の重さが基準の重さより 6kg 重いことを＋6kg と表すことにすれば，10kg 軽いことは□kg と表すことができる。

(2)　現在から 8 分後を＋8 分と表すことにすれば，－5 分は現在から□を表している。

2 下の数直線で，点 A，B，C，D に対応する数をいいなさい。　正負の数と数直線

また，次の(1)～(4)の数に対応する点をしるしなさい。

(1)　－4　(2)　＋1　(3)　$-\frac{5}{2}$　(4)　＋0.5



3 次の各組の数の大小を，不等号を使って表しなさい。　数の大小

(1)　＋3，－4　(2)　－13，－8

(3)　＋6，－9，0

4 次の数のなかで，絶対値が等しいものはどれとどれですか。　絶対値

－3，　＋0.3，　0，　－1，　＋3，　$+\frac{1}{3}$，　－0.3

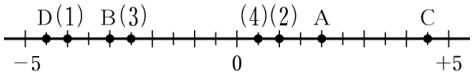
基本の問題

1 (1) -10　(2) 5分前

評価の観点：知識・理解

2 A…$+2$，B…-3，C…$+4.5$，D…-4.5

評価の観点：知識・理解



3 (1) $-4<+3$
(2) $-13<-8$
(3) $-9<0<+6$

評価の観点：技能

4 -3 と $+3$，-0.3 と $+0.3$

評価の観点：知識・理解

※間違えた問題は消さずに，残しておきましょう。
今のあなたが苦手な場所です。また，間違えた問題はもう一度解きましょう。

今回の内容は以上で終了です。
最後に，今回の授業で学んだことを振り返り，気づいたことや疑問に思ったこと，理解度の自己評価など，自分なりに考えをまとめ，授業用ノートに書いてみましょう。

参考（評価・評定について）

観点別評価について

数学は，「関心・意欲・態度」「見方・考え方」「技能」「知識・理解」の４観点に分かれます。

観点	授業中の態度・様子 持ち物・忘れ物	問題集・夏季課題 授業ノート等	定期テスト	小テスト	朝学習
関心・意欲・態度	◎	◎	△	△	○
見方・考え方	○	○	◎	○	△
技能	○	○	◎	○	○
知識・理解	○	○	◎	○	○

※主なチェック項目は上の通りですが、授業の様子を見ながら変更する場合もあります。

評定について

観点別評価を点数化し、その合計点数によって評定を出します。
Ａ゜＝５点、Ａ＝４点、Ｂ＝３点、Ｃ゜＝２点、Ｃ＝１点

評定	観点別評価の合計
5	１８点～２０点
4	１４点～１７点
3	１１点～１３点
2	８点～１０点
1	４点～　７点

例えば　観点別評価が「関→Ｂ、考→Ｃ゜、技→Ａ、知→Ｂ」だった場合は、
点数の合計が３＋２＋４＋３＝１２点となるので評定は「３」になります。

テストの評価について

観点ごとに問題がつくられています。それぞれの観点ごとの得点を見て、次のカッティングポイントに従って評価をします。また、観点によって得点の比重を大きくしたり、小さくしたりします。
Ａ○…およそ 90％以上／Ａ…およそ 80％以上／Ｂ…およそ 50％以上／Ｃ○…およそ 20％以上／Ｃ…およそ 20％未満